



特集

Welcome to ASAHIKAWA

世界から旭川へ

近年、旭川を訪れる外国人観光客が増えています。
訪れた人の声や、観光客に楽しんでもらう取組みなどを紹介しながら
観光地としての旭川の魅力や、受け入れる私たちができることについて考えます。

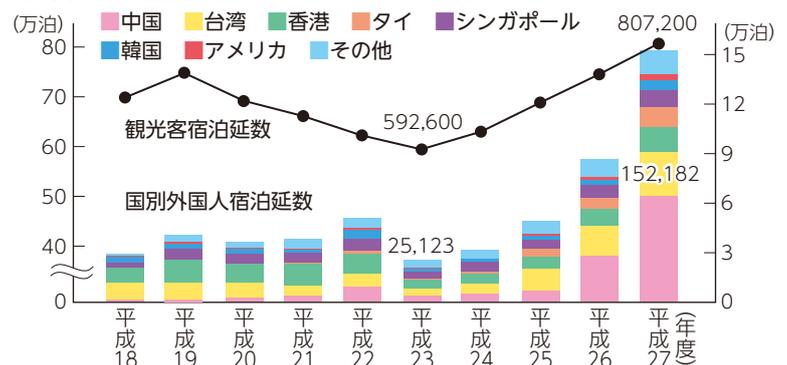


国内外を問わず観光客の増加は、
経済の活性化や市のイメージアップに大きく貢献します。

1年間に旭川を訪れた観光客入込客数は平成27年度が55.3万人。宿泊延数は80万7千200泊で、そのうち外国人観光客の宿泊延数は15万2千182泊となっています。東日本大震災の影響で一時落ち込んだ同23年度の2万5千123泊と比べると、同27年度の外国

年々増える外国人観光客

旭川市の観光客宿泊延数と国別外国人宿泊延数



ようこそ！旭川で何をしますか？

四季のはっきりした旭川には、1年を通して観光客が訪れますが、冬の旭川も人気が高く、冬まつり期間中も多くの外国人が訪れました。市内のゲストハウスに宿泊した人に、旭川でやりたいことなどを聞きました。

協力：ゲストハウス旭川（6の7）



チェコから

7日間の1人旅。旭川は初めて。想像以上に寒いけど、とても良いまちだね。氷彫刻と冬まつりを見たい。



韓国から

4日間の1人旅。旭川は初めて。寒いけど、雪の美しさ感激！ラーメンとジンギスカンを食べて、上富良野町の吹上温泉に行くの。



フランスから

20日間の旅。旭川は山に近いのが魅力。氷彫刻も素敵だった。バスで旭岳に行きたい。滞在中に雪が降ってほしいな。



オーストラリアから

1か月間の1人旅。何度か来日しているけど、旭川は初めて。冬まつりを見て、しょうゆラーメンを食べたい。小さな雪だるまがかわかった！



アメリカから

旭川に友人がいるから来たんだ。スノーボードをして、お寿司を食べたい。増毛や小樽などにも行く予定。

Nigiri!
Yaaay!



人観光客の宿泊延数は6倍以上に増えています。地域別では、旭川空港に直行便が運航している中国と台湾が上位を占め、続いて香港やタイ、シンガポール、韓国、さらにアメリカやオーストラリアなどからも多くの観光客が旭川を訪れています。

旭川だからこそ、できること

外国人観光客は、旭川でどのようなことを楽しんでいるのでしょうか。

インターネットや訪れた人の口コミを通して情報を入し、様々な「旭川だからこそ、できること」を楽しんでいます。

世界に伝わる雪質の良さ

冬の旭川の魅力の1つに、スキーやスノーボードに適した雪質の良さがあり、この雪を求めて、多くの外国人が旭川を訪れます。

市内のスキー場、カムイスキーリンクスには、昨シーズンの4か月間に2千500人以上の外国人観光客が訪れました。地域別で多いのは、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、カナダ、香港、韓国などで、他にもヨーロッパ各国から訪れています。外国人の来場者は年々増え、今シーズンは2月初旬の時点で、既に昨シーズンを上回るほどの来場者数を記録。その理由は何でしょうか。営業担当の阿部純也さんは「インターネットや訪れた人の口コミで、旭川の雪質の良さが世界の人に認知されたからだと思います。寒い



雪質の良さを求めて、アメリカから訪れた2人は2度目の旭川



外国人に対応したパンフレットを作っている他、ホームページやフェイスブックで、毎日その日のコンディションを英語で発信している



カムイスキーリンクス 営業担当の阿部純也さん

旭川だからこそそのパウダースノーやゲレンデの広さ、混み合っていないこと、リフト料金の安さなどが旭川の強みです」と話します。難易度の高いコースや圧雪していない林間コースが人気の一方、ゴンドラに乗って山頂へ行き、雄大な眺望に歓声を上げる人もいます。阿部さんは「英語や中国語などに対応したパンフレットやホームページ、フェイスブックなどで、さらに発信力を強化していきたい」と、熱く話します。



①オーストラリアから雑誌の取材スタッフが訪れ、雪質の良いスキー場として紹介された

②ゴンドラに乗って山頂まで行くと、石狩平野が眼下に広がり、海が見える日もある



スノーシューハイク



神居町富沢

木こりのガイドと一緒にスノーシューで山を歩く。山での暮らしを聞き、時には木こりを手伝うことも

雪だるま作り



平和通買物公園

インストラクターにコツを教えてもらいながら雪だるまを作り、展示。子供にも大人にも喜ばれる

果物狩り



ハスカップの里（東旭川町桜岡）

果樹園等でサクランボやイチゴ、ハスカップなどのもぎ取り。おいしさに加えて風景の良さも人気

牧場体験



旭川あらかわ牧場（江丹別町拓北）

牛と触れ合い、搾乳やバター作りを体験。出来たてのバターは、畑で取れた野菜などと一緒に食べる

ありのままの旭川らしさが魅力

旭山動物園のように世界に知られた名所だけではなく旭川や周辺地域のありのままの自然や暮らしが、観光客にとっては新鮮な魅力として受け止められています。

旭川の良さに気付いてほしい

皆さんは、旭川を訪れた人をどこに案内しますか。よく知られている観光地でしょうか。「特別な場所に行かなくても、地元の人には当たり前前の場所や体験を通して旭川の暮らしや歴史に触れることも、観光客にとっては新鮮な魅力です」と話すのは、旭川や周辺地域ならではの体験ができるツアーを企画している林 和寛さん。札幌出身で、これまで東京や長野に住んでいた林さんは「あえて、よそ者の視点で見たからこそ、旭川の多様な魅力を発見できました」と話します。

林さんが感じる旭川の魅力は、四季がはっきりしていること。そこで、夏期は果物狩りや野菜収穫、川下り、冬期は冬まつりに加えて上川神社までの早朝ハイキングなどを企画。林さんがガイドとして同行し、旭川の農産物や寒さについて、また、上川神社の歴史などを説明するのも大事なポイント。「場所や体験にまつわる物語を話すことでより魅力が伝わり、再び旭川を訪れる方もいます」と林さん。「旭川にあるたくさんさんの魅力を、地元の方に知ってもらい、一緒に市外の方に伝えてほしい。『旭川には何も無い』と言う人もいますが、決してそんなことはありません」と力を込めて話します。



旭川通運の観光企画課に在籍し、旭川まるうんトラベル・ガイドマネジャーを兼務する林 和寛さん

ラフティング

川のまち・旭川で、ぜひ体験してほしい川下り。水しぶきに歓声が上がります。船上から見るまちの姿も印象的



美瑛川（両神橋付近）

どんなお土産が人気なの？

外国人観光客が選ぶ旭川のお土産は何でしょうか。旭川を中心にした地場産品約800種を販売する駅nakaに売れ筋を聞きました。



◀旭豆 (上) ◀き花プティモ 山葵~WASABI

お薦めしたいのが、日本ならではのスパイスとして人気のわさびを効かせたお菓子。ぴりっとした辛さが外国の方にも喜ばれるはず (旭豆：共成製菓、き花：壺屋総本店)

◀氷点下 41℃

明治35年に記録した旭川の最低気温をネーミング。極寒の大地をイメージした香ばしい焼き菓子 (高橋製菓)

◀国士無双 ミニ菰樽

海外でも人気の純米国士無双をミニチュアサイズの菰樽で (高砂酒造)



◀旭川繁盛店 ラーメン

旭川の人気ラーメン店の味を手軽に味わえる低温熟成乾燥麺に (藤原製麺)



◀スティック蜂蜜

道産100%の蜂蜜4種類を、使い切りサイズのスティックとチューブに (ほっとスペースこすもす)



◀旭山マグネットクリップ

旭山動物園の人気動物たちを、かわいい木製のマグネットに (トミヤ澤田商店)

◀奇跡のプリン 常温タイプ

道産の牛乳・卵・甜菜糖を使用した「奇跡のプリン」を、常温保存可能なレトルトパックに (スノークリスタル)



旭川らしいお土産は、ここで買えます

(店舗によっては、一部取り扱いしていない商品もあります)

駅naka (旭川駅東側)
☎24・2552 9:00~19:00

道の駅あさひかわ売店 (神楽4の6)
☎74・7011 9:00~19:00

旭川空港売店 (東神楽町東2線16号)
7:55~20:00 (航空便の運航に合わせて変更あり)

まちなか交流館 (5の7 旭川フードテラス2階)
☎74・6618 9:00~19:00



マイタウンあさひかわ

市の広報番組「マイタウンあさひかわ」でも旭川のお土産を紹介します

放映 HBC 3月26日(日)
午前6時30分~45分

※番組は放送終了後、市庁舎でご覧になれます。





このおいしさを、世界の人に

海外から旭川を訪れた人が食べたい物は何でしょうか？
 ラーメンをはじめ、肉や海産物などおいしい物がいっぱいの
 旭川の食の魅力を伝えようと、様々な取組みが進められています。

文化の違いを受け入れて

観光客にとって魅力の1つが、その土地のおいしい食べ物。旭川にはご当地グルメとして有名になった旭川ラーメンをはじめ、豊富な農畜産物、地酒、和洋の菓子類などがあります。また、水産物の流通拠点であることから、新鮮な魚介が揃った寿司や海鮮料理などもあり、おいしい物にあふれています。こうした食を有力な観光資源として、積極的に発信する取組みが進められています。

多くの外国人観光客が訪れる店の1つ、ラーメン店「山頭火」では、メニューに英語や中国語、韓国語も表記しています。同店の畠中 宙さんは「色々な国の方が来店しますが、それぞれ日本とは違う文化や食習慣があるので、うち



メニューが外国語表記になっていることに加え、写真があると分かりやすい



らーめん山頭火本店の
 畠中 宙さん

では、守ってほしいマナーを英語と中国語で書いて貼っています。文化の違いに驚くこともあります。話が通じなくても心は伝わりやすいです」と話します。

外国語に対応したメニューがあれば旭川の食の魅力が伝わりやすく、また、言葉が通じなくても、身ぶりなどで相互理解を深めることが、おもてなしにつながります。



ハラルを知っていますか？

「ハラル」とは、イスラム教の戒律に沿った食のことです。豚肉や酒など口にしていけない食材があるため、料理に使われた素材などの表示が必要です。

旭川でも、外国人観光客が増える中、イスラム教徒に対応した食やサービスが求められています。昨年の食べマルシェでは、アレルギー食材に加え、豚肉や酒などの食材についても表示することにしました。

また、旭川空港には礼拝室が整備され、空港内のレストラン「ティファニー」では、ハラルのメニューを用意するなど、イスラム教徒への対応が進められています。





市民ができる
おもてなし

観光課の
原田 佳さん

まちの魅力を知ろう！

「旭川は何もないから」と思っていますか。今回紹介したように、私たちの普段の暮らしや環境の中にも、外国人にとっての魅力となるものがたくさんあります。まずはそうした魅力を認識するのが、おもてなしの第一歩です。

外国語が話せなくても

相手の国の言葉が話せないと、話し掛けづらいものです。でも、困っている人を見掛けたら、日本語で声を掛けてみましょう。言葉が通じなくても、身ぶりや手ぶりを交えて話すと、伝えられることもあります。そうしたやり取りも、観光客にとっては旭川の良い思い出になるはずですよ。

案内所などを紹介しよう

自分だけで対応できないと思ったら、外国語で説明できる人がいる場所を教えてください。旭川駅近くなら、観光物産情報センター（旭川駅東側）へ。他にも、市内各地に観光案内所があります。

旭川がさらに観光客でにぎわう地域になることを目標に、市では、国内外から観光客を誘致するために、周辺地域と協力して現地に行き、旭川と周辺地域の魅力をPRしています。また、平成30年には旭川空港の国際線ターミナルビルが新しくなるなど、観光客を受け入れる取組みを進めています。旭川の魅力を知り、まち全体で観光振興に取り組んでいきましょう。

【詳細】観光課 電話 25・7168

一人一人がまちの魅力を知ることから

これからさらに増加が見込まれる外国人観光客。市内では、様々な取組みが進められていますが、私たち市民ができることは何でしょうか。

旭山動物園だけではなく、冬景色やスキー・スノーボード、夏の空気感や自然の中での体験、また、ラーメンなどの食を求めて、これらからも外国から多くの観光客が旭川を訪れると予想されます。私たちは、それをどのように受け止めて歓迎したらよいのでしょうか。観光物産情報センターで多くの外国人の案内をしている大野由加利さんに聞きました。「アジアの方は、花や紅葉、雪を見たいと希望し、欧米の方は登山やスキー・スノーボードなどのスポーツや体験を希望する方が多いです。いずれにしても彼らが求めるのは『旭川にしかないもの』です。そうした要望に応えるためには、もつと魅力の発信や楽しみ方の選択肢を

魅力があるから旭川へ来る



観光物産情報センターの
大野由加利さん

増やしていく必要があると思います。『旭山動物園の他に、お勧めは』と聞かれることも多いので、私自身も旭川の良さを積極的に探しています。身近な所にもお勧めはたくさんあります。駅の裏にありながら、美しい景観と静けさを持つ北彩都ガーデンは私のお薦めの1つです。一人一人がまちの魅力を認識することで、さらに観光客にとっても魅力あるまちになると思います」と、大野さんは期待を込めて話します。

